

# VMware vCloud Air

## パブリック クラウド IaaS (サービスとしてのインフラストラクチャ)

### vCloud Air

#### Q：VMware vCloud Air について教えてください

A：VMware vCloud® Air™ は、VMware が所有および運営する安全な IaaS (サービスとしてのインフラストラクチャ) パブリック クラウドです。VMware vCloud Air は、信頼性の高い基盤である VMware vSphere® 上に構築されています。このサービスは、既存のワークロードのほか、新しいアプリケーション開発をサポートするもので、IT 管理者や設計者が使いたれたツールやプロセスを利用して、既存のデータセンターをクラウドへシームレスに拡張するための共通のプラットフォームを提供します。

インフラストラクチャのコンピューティング レイヤー、オペレーティング システム、アプリケーション カタログ、および各種管理ツールを VMware が提供し、完全なクラウド環境を実現します。vCloud Air では、使いたれた vSphere のツールを利用して、社内環境とパブリック クラウド間で仮想マシンやワークロードを容易に移行できます。

vCloud Air は VMware のパブリック クラウドです。vSphere と同じアーキテクチャで構築され、同じ管理ツールを使用します。vCloud Air で、社内のクラウドをパブリック クラウドに拡張できます。

#### Q：「ハイブリッド クラウド」とは何ですか

A：ハイブリッド クラウドとは、同じインフラストラクチャ、ネットワーク、管理方法、およびスキルを利用して、既存のデータセンターをパブリック クラウドまでシームレスに拡張するためのインフラストラクチャ サービスです。アプリケーションは、そのままオンサイト、オフサイト、またはその両方に展開して実行できるので、API の変更やアプリケーションの書き換えの必要はなく、特定のベンダーに固定されません。

### サービスの内容

#### Q：vCloud Air が提供するサービスを教えてください

A：現在 vCloud Air では、主に 3 つのサービスを提供しています。サービスは近日中に増える予定です。基本コンピューティング サービスとして、専有型クラウドと仮想プライベート クラウドの 2 種類をご用意しています。また、vCloud Air では Disaster Recovery サービスを提供しています。

このほかに、主要サービスを補完するオプションのアドオン機能も数多くご用意しております。アドオン機能には、Data Protection、Direct Connect、Offline Data Transfer、VMware Horizon™ DaaS® (サービスとしてのデスクトップ) などがあります。さらに、vCloud Air では、サービスとしての Pivotal CF プラットフォームを利用できます。

#### Q：専有型クラウドと仮想プライベート クラウドの IaaS サービスの違いを教えてください

A：専有型クラウドでは、物理的に分離されたコンピューティング リソースとして専有のシングル テナントが提供されるので、ユーザーはコンピューティング リソースを完全に管理できます。これにより、社内チームは必要な機能を利用して、リソースを迅速にプロビジョニングできます。専有型クラウドでは、複数の仮想データセンター の作成、リソースのオーバーコミットメントによる使用率の最適化、特定のアプリケーションに対するリソースの予約を行うことができます。パブリック クラウドに配置された専有のプライベート クラウドであるため、アプリケーション パッケージのホスティング、テスト / 開発ワークロードのオーバーコミットメント、ミッション クリティカルな本番環境のワークロードに最適です。

仮想プライベート クラウドは、論理的に分離された、マルチテナントの IaaS 環境です。仮想プライベート クラウドは、キャパシティの占有量が小さく、仮想メモリの予約機能を提供しており、さまざまなワークロード、テスト / 開発、新しいモバイルアプリケーションや Web アプリケーションのホスティングなどに適したプラットフォームです。

どちらの IaaS サービスも、ネットワークとストレージを論理的に分離することで、リソースの安全性を確保しています。また、どちらのサービスも、コンピューティング、ストレージ、および IP アドレスを段階的に追加できるようになっています。また、Direct Connect、Data Protection、Offline Data Transfer などの追加機能を利用できます。

#### Q：Disaster Recovery サービスについて教えてください

A：Disaster Recovery は、信頼性に優れたフェイルオーバー環境を、既存のデータセンターに提供します。Disaster Recovery は、仮想マシンの非同期レプリケーションを使用して、ディザスタリカバリのニーズに合わせて容易に構成できます。

## 使用例

Q：vCloud Air を使用するメリットを教えてください

A：vCloud Air は、既存のインフラストラクチャとパブリッククラウド インフラストラクチャを活用して、本番環境や本番前環境のワークロードをさまざまなシナリオで実行するための、俊敏性と信頼性を備えています。

- 予想される業務の拡大に合わせてデータセンターのキャパシティを拡張
- グローバル展開のニーズや、変化するビジネス ニーズに合わせた迅速なサービス デリバリーに対応
- IT サービスの調達モデルを設備投資コストから運用コストに切り替え

## 購入方法

Q：vCloud Air の購入方法について教えてください

A：vCloud Air は、利用可能なリソースのプールが含まれるサブスクリプション サービスとして販売されます。サービスは、月間または年間契約のサブスクリプションとしてご購入いただけます。長期契約のほうがお特な価格設定となっています。また、サービスのサブスクリプションをご購入後、コンピューティング、ストレージ、またはその他のアドオンを段階的に追加することも可能です。

展開するアプリケーション、構成要件、および契約条件に応じて、ビジネス部門、IT 部門、および開発部門のニーズを満たす適切な契約期間を選択できます。

vCloud Air は、VMware の認定ソリューション プロバイダを通じてご購入いただけます。日本ではすべてパートナー経由での購入になります。

Q：vCloud Air に含まれる機能について教えてください

A：vCloud Air のすべてのサービスにはコンピューティング（仮想メモリと仮想 CPU）、ストレージ、パブリック IP アドレスが含まれ、それぞれ基本容量が提供されます。これらのリソースはセルフサービスで拡張できます。

すべてのサービスに、冗長性、高可用性、ファイアウォール、ロード バランシング、NAT、DHCP、IPsec VPN、およびディスク I/O が無償で組み込まれています。

Q：即時に利用できるサービスはありますか

A：2014 年末頃に、サブスクリプション サービスに加えて、クレジット カード ベースの従量課金制利用モデルを導入する予定です。

Q：仮想マシンを個別に購入することはできますか

A：いいえ。vCloud Air は、自由に利用できるリソース プールとして提供されています。これには、ニーズに応じたコンピューティング リソースの予約またはオーバーコミットメントが可能になるというメリットがあります。サイズが固定された仮想マシンを購入した場合、柔軟性にも限度があるため、リソースの使用率が低くなる可能性があります。オーバーコミットメントが可能であれば、必要に応じてリソースの使用率を調整できます。また、リソース プール モデルの場合、支払い額を一定にすることができます。

## vCloud Air の使用方法

Q：vCloud Air の操作方法を教えてください

A：vCloud Air の操作には、[vchs.vmware.com](http://vchs.vmware.com) からアクセス可能な Web ベースのポータルが主に使用されます。これに加えて、vCloud Air と VMware® vCloud Connector® に対応する vSphere プラグインがあります。VMware® vCloud Director® やその他の複数のアプリケーションを使用して、ハイブリッドクラウドを操作、変更、および自動化することもできます。

Q：アプリケーション、仮想マシン、または vApp を社内のクラウドから vCloud Air に移動するにはどうすればいいですか

A：これは VMware のハイブリッド クラウドの大きなメリットの 1 つですが、社内のクラウドと vCloud Air 間で仮想マシンや vApp を容易に移動させることができます。これを行うには次の方法のいずれかを選択します。

VMware の既存のお客様は vCloud Connector を使用して、vSphere ベースのクラウド間で、vSphere で仮想化されているアプリケーションを接続、表示、コピー、および操作することができます。アプリケーションは、オンラインまたはオフラインで移行できます。ワークロードを任意の場所に容易に移行する方法を示したデモ ビデオをご用意しております。移行場所や移行時間は自由に選択できます。

大容量のワークロードを移行する場合は、Offline Data Transfer サービスを利用することをお勧めします。この場合、VMware が提供する暗号化されたストレージ デバイスを利用して移行を行います。このデバイスをお送りいただければ、VMware が代わりにデータをロードします。

また、データを OVF 形式に変換してインターネット経由で送信するか、VMware の高速接続ソリューションである Direct Connect を使用して送信することも可能です。

Q：既存の仮想マシンや、ライセンスを所有しているアプリケーションを vCloud Air に移動することはできますか

A：もちろん可能です。ハイブリッド クラウドの主なメリットの1つは、既存の仮想マシンとネットワーク アーキテクチャを利用できることです。vCloud Air は、2,200 社を超えるテクノロジー パートナーが提供する、5,000 を超えるアプリケーションをサポートしています。

オペレーティング システムとアプリケーションのカタログがサービスの一部として含まれており、一般的なワークロードに対応します。ソフトウェアについては、ライセンスのコンプライアンスを維持している限り、そのソフトウェアを問題なくクラウドに移行できます。

Q：vSphere や VMware vCloud® Suite がなくても vCloud Air を使用できますか

A：はい。vCloud Air は、オンサイトとオフサイトのデータセンターをシームレスに接続できるように設計されていますが、VMware のインフラストラクチャが必要というわけではありません。サービスの利用に必要なのは Web 接続環境だけです。

## 詳細情報

VMware vCloud Air の詳細については、

<http://www.vmware.com/go/jp-vcloud-air/> をご覧ください。

vCloud Air に関するご質問、または VMware 製品のご購入については、弊社営業部門に E メールにてお問い合わせください。

